

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/ 松田 和秀  
編集者/ 教育・広報部

## 申第7号「駅業務執行体制の再構築等について」 に関する申し入れの交渉を行う!!

4月12日、申第7号「駅業務執行体制の再構築等について」の団体交渉を行ないました。

冒頭、会社に対し「駅業務執行体制の再構築等」は支社としての具体的な終着点はどのように考えているのか。この施策は要員の削減が目的か。サービスの低下が心配であること。顧客満足度が下がったのは、この施策が原因ではないかと問いかけましたが、会社は、以前から行ってきたことの延長線上であり、その場に応じて改善改良を重ねていくことが必要だとの回答でした。

私たちは、お客さまを蔑ろにしたこの施策で「お客さま満足の上昇」は望めない、また支社実行計画にもある「異常時対応能力の上昇」とは相反しているのではないかと訴えました。

### 今回の交渉で確認された事項

#### 1、今施策の目的は？

- ・エルダー社員の職場の場確保が目的である。

#### 1、委託駅で異常事態が発生した場合、管理駅からの移動手段をどのように確保するのか？

- ・基本的にはタクシー利用となる。地区センターの車も使用できるか検討している。
- ・磯子駅については、業務用自動車を配備することを検討している。

#### 1、びゅうプラザ一部閉店に伴う対応は？

- ・閉店に伴い、ご利用するお客さまに対しては、商品代金より他店舗に行く際の運賃等を差し引く等の対応をしている。
- ・閉店に伴い、出札が混雑することがあれば、状況に応じて検討し、出札窓口を増やす可能性はある。

委託駅化により要員の増を求めたことに対して、平行線の議論となっています。  
職場環境・労働条件をより良いものとするため、  
今後も疑問点・改善点を会社へぶつけていきましょう!!